

中国・四国ブロック会員松原徹さんが長年取り組んでこられた活動が出版されました。トコトコオフィスのみでの販売とのことですので、ご興味ある方はリンクからご確認下さい。



松原さんからの本の紹介

青少年、子どもの問題が社会問題になっている現代に役立つ本を作りたいとの一心で、7年間書き溜めてきた名畑先生と子どもたちの会話を、2020年度1年間をかけて保育士・名畑俊子、デザイナー上杉雅紀氏、ヴォイスクリエーター松原徹、そしてトコトコハウスの子供達が取り組んだ本です。平成12年より非行、不登校、引きこもり等、青少年問題に音楽をからませることで改善・解決に努めてまいりました。そんな中、常に思っていたのが幼児教育の重要性。そこで平成22年に「子ども達の文化的教育スペース」を目指し、名畑先生とトコトコハウスをオープンさせ、今年で12年目を迎えています。

その間沢山の子ども達が学び卒業していきました。そして現在40数名の子ども達が通ってくれています。講座でよく耳にする「先生、言うたらいけんよ」という子どもの声。私は「言うたらいけんよ」を「これぞ子どもの本音」なんだなと思いながら聴いています。「こういうふうにとらえているのか」「え!？」と思いながら、これらを知ることこそ子ども教育にとっての肝ではないか?と思うようになったのです。しかし、それがわかっても「言うたらいけんよ」という言葉を引き出すにはなかなかのテクニックが必要。この本を読んで名畑先生の子どもの向かう心構え、心を開かせるテクニックを垣間見ていただき、教育、子育てに役立てていただきたいと思います。

是非、教育現場で活躍されている保育士、教員の皆様、そして現在子育て奮闘中の保護者の方々に読んでいただきたいと思います。

詳細へのリンクは以下からご確認ください。

<http://tokotoko-office.com/202104031402/>

<http://tokotoko-office.com/202012111232/>